

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	古見原地域の交通安全を目指した営農の実践事業
事業主体 (連絡先)	朝日村 (0263-99-2001)
事業区分	⑥ イ 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,165,292 円 (うち支援金 : 1,623,000 円)

事業内容

畑地帯の中を通っている村道針尾幹2号線は、中学校への通学路となっている。この道路では、農繁期に行われるスプリンクラーの散水が車歩道に飛散し、濡れるのを避けるために中学校生徒が大きく飛び出す事案が発生しているため、散水時の飛散防止策の一つとして、半スプリンクラーを導入する。

交通安全を目指した営農の実践事業として、地域の交通安全確保に対し、農業者に理解を得、活用することで、通学時間を気にせず散水できる。また通学時の安全確保を図ることができる。



【半スプリンクラー】

【目標・ねらい】

- ① 営農と交通安全の両面から効果が期待できる
- ② 地域の農業の活性化
- ③ 中学校生徒と農業者との信頼関係の構築

事業効果

今回の事業を導入したことで、中学校の通学路であることを改めて確認し、交通安全へも気を配る農業者が増えた。歩車道へ飛び出す中学生は減り、交通死亡事故ゼロは3,500日を越え、現在も継続中である。

また、村が計画した村道針尾幹2号線以外の畑地帯で通学路に面している畑にも、半スプリンクラーを設置する畑が増えることが期待できる。

※自己評価 【A】

【理由】

村が想定していた主たる通学路以外の耕作地でも、通学路への散水を考慮し、半スプリンクラーを使用する農業者が増えた

今後の取り組み

今回、村が想定した耕作地以外でも半スプリンクラーの設置が広がっているので、全村で道路に散水が飛び出さないような取り組みへ繋げていく。

耕作地の中を走る中学校生徒をはじめ車で通行する大人も、農業者の取組みに感謝し、お互いを尊重することで、農作物の地産地消へと繋げていく。